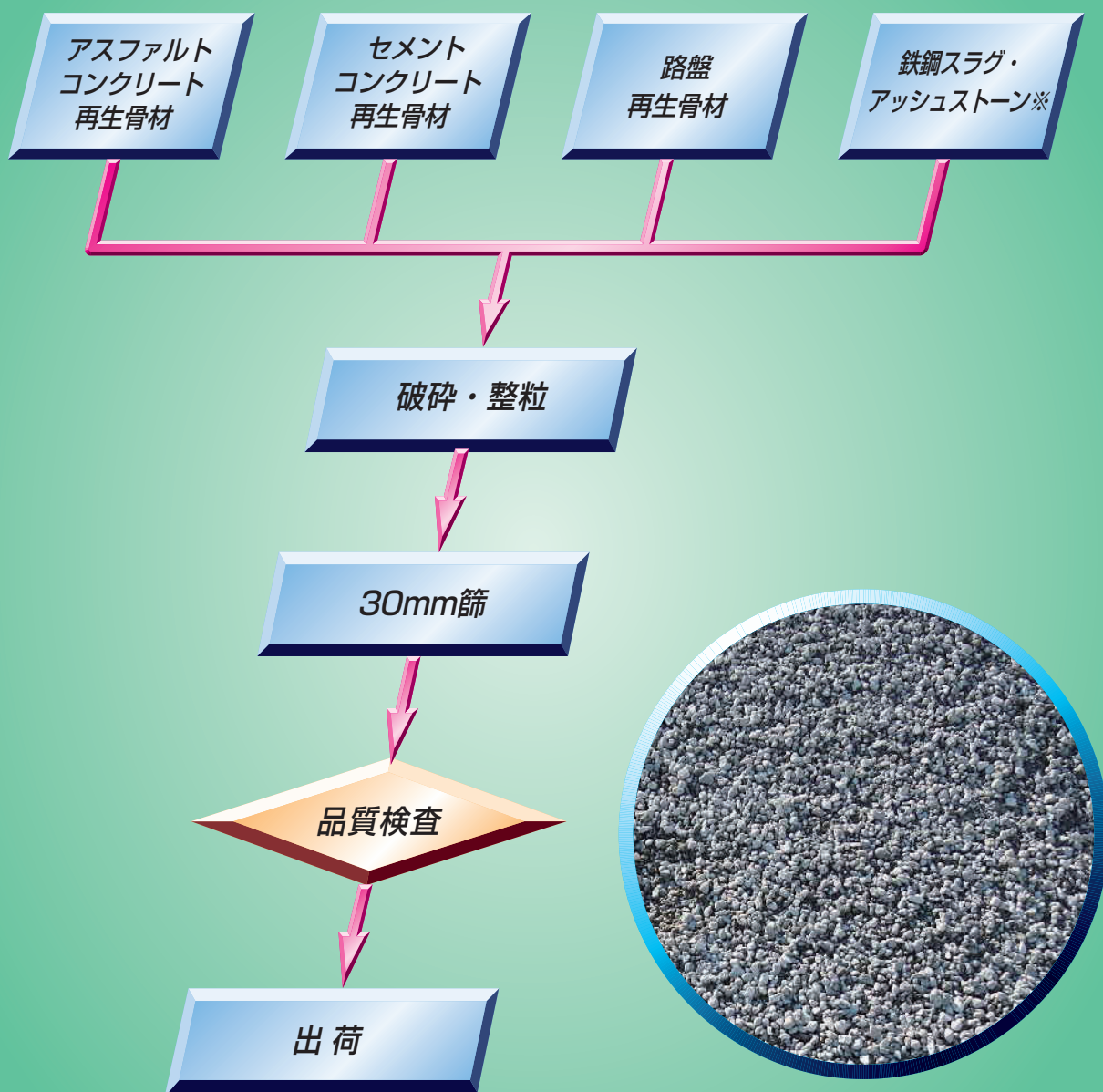


再生粒度調整碎石

(RM-30)

再生粒度調整碎石は、鉄鋼スラグ、アッシュストーンおよび製鉄所内で発生する建設副産物から造られた再生骨材を混合して製造された材料です。

■再生粒度調整碎石製造工程



※アッシュストーン

自家用発電所の石炭灰を造粒固化させたもので、2003年4月に兵庫県において公認化(県通達)され、兵庫県土木請負工事必携(平成29年12月版)の「水硬性粒度調整鉄鋼スラグを用いた路盤の設計施工マニュアル」にも記載されています。

再生粒度調整碎石の性状

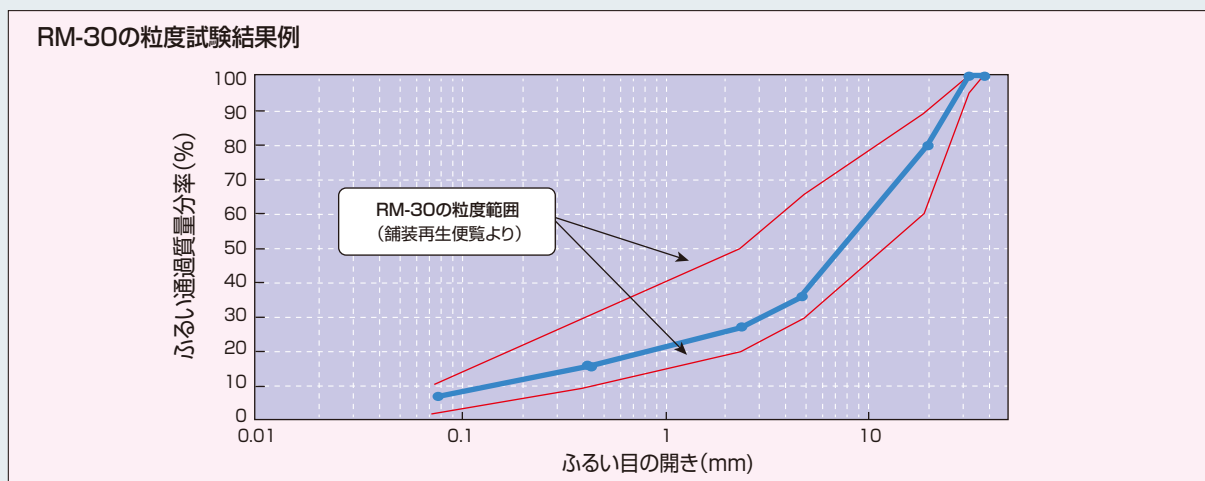
■再生粒度調整碎石 (RM-30) の品質

●品質試験結果(規格は「舗装再生便覧」による)

試験項目	実績	規格	試験方法
単位容積質量(kg/L)	1.7~2.0	—	JIS A 1104
最大乾燥密度(g/cm ³)	2.1~2.4	—	JIS A 1210
最適含水比(%)	8~11	—	
修正CBR(%)	100以上	90以上	舗装調査・試験法便覧
塑性指数PI	N P	4以下	JIS A 1205
すりへり減量(%)	25~35	50以下	JIS A 1211
安定性損失率(%)	10以下	20以下	舗装調査・試験法便覧
自然含水比(%)	6~10	—	JIS A 1203
呈色判定	呈色なし	呈色なし※1	JIS A 5015
水浸膨張比(%)	0.5以下	1.0以下※1	JIS A 5015

※1 道路用鉄鋼スラグJIS A 5015を参考にしています。

●粒度



●環境安全品質

◆鉄鋼スラグは1380℃~1700℃の高温熔融状態を経るため、ダイオキシン等の有機塩素化合物や水銀、カドミウム等の沸点の低い重金属類は、ほとんど含まれません。道路用鉄鋼スラグJISA5015で規定されている項目の分析結果を右表に示しますが、どの項目も基準値を満足しています。

項目	溶出量(mg/L)		含有量(mg/kg)	
	試験結果	基準値※	試験結果	基準値※
カドミウム	<0.001	0.003以下	<5	45以下
鉛	<0.005	0.01以下	≤12	150以下
六価クロム	<0.01	0.05以下	<5	250以下
ひ素	<0.002	0.01以下	<5	150以下
総水銀	<0.0005	0.0005以下	<0.1	15以下
セレン	≤0.003	0.01以下	<5	150以下
ふっ素	<0.2	0.8以下	200~310	4000以下
ほう素	≤0.2	1以下	60~95	4000以下

※JISA5015の基準(土壤環境基準:溶出量、土壤汚染対策法:含有量と同じ値です。)

■使用上の留意点

- 本製品はセメントコンクリート破碎ガラや鉄鋼スラグを含んでおり、浸透水がアルカリ性(pH=12程度)を呈しますので、表層をアスファルトコンクリートでセメントコンクリートで舗装する路盤材としてご使用ください。それ以外の用途でご使用される場合は、下記までお問い合わせください。
- 使用場所に隣接して特に水質が重要視される飲料用井戸や養魚場等があり、当製品の浸透水が直接流入する場合には、ご使用をお避けください。

※このカタログに記載された数値、写真、評価等の情報は、弊社製品の一般的な特性や性能を説明するための参考情報であり、保証を意味するものではありません。また本カタログに記載の情報は今後、予告なしに変更される場合があります。